

≪上尾特別支援学校上尾南分校の活性化・特色化方針≫

種別	知的障害	学部・学科	高等部（分校）	R8.5.1 児童・生徒数	(男) 30 (女) 16	計 46人
アクセス	<ul style="list-style-type: none"> ■ J R高崎線 上尾駅 西口より <ul style="list-style-type: none"> ● 市内循環バス「ぐるっとくん」 (大谷循環・日産先回り) 約13分 →「上尾南高校前」下車 徒歩約3分 ● 自転車約15分 ■ J R高崎線 宮原駅西口、J R埼京線 日進駅・西大宮駅より <ul style="list-style-type: none"> ● 自転車約15分 					
<教育課程等>						
<p>1年時：自己理解を深める教育課程</p> <p>○多様な経験・体験から自己理解を深める →教科学習+職業教育にバランスよく取り組む</p> <p>○障害に基づく困難を主体的に改善・克服する。 →時間における自立活動のほか、学力の基礎となる国語、数学は週2時間設定。 基礎体力の基盤をつくる保健体育を週3時間設定。</p> <p>2年時：自己選択のきっかけをつくる教育課程</p> <p>○自己決定に向けた選択肢を増やす →主要5教科のうち国語、数学を週2時間ずつ設定。 また、実生活に根ざす家庭科の授業を週2時間設定。情報の授業を新設。</p> <p>3年時：自己決定を重ね、自立・自律心を育む教育課程</p> <p>○教育活動のあらゆる場面で、「自分で決める」場面を設定 →生徒自身が履修科目を選ぶ選択授業を週13時間設定。 自己理解・自己選択の積み重ねによって得られた力をもとに、自らの進路を切り拓く。</p>						
<学校行事・部活動>						
<p>「自分を見つける」</p> <p>○学校行事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体育祭や文化祭、芸術鑑賞会などの校内行事（いずれも上尾南高校と合同開催） →「好き」や「得意」を生かし、全員が輝ける機会を設定する。 ・ 社会体験学習や修学旅行などの校外行事 →余暇活動とも関連付け、趣味や熱心に打ち込めるものを見つけることをサポートする。 <p>☆より豊かに生きるための力を育む。</p>						
<家庭・地域との連携>						
<p>「共に学ぶ」</p> <p>○上尾南高校との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 交流及び共同学習 →上尾南高校の行事等に参加する活動に加え、上尾南高校生を分校へ招いての交流にも挑戦する。 <p>○地域との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 職業の授業 →商品の販売活動や受注業務、清掃活動等を通して、実社会に貢献する経験を積む。 <p>☆社会参画への意識を高める。</p>						
<進路>						
<p>「未来へつなぐ」</p> <p>○すべての教育活動がロジカルに機能するキャリア教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「なぜ」「なんのために」を問い続ける →「自立」を促すための「自律」を支援し自分自身と向き合う態度を育む。 ・ 生徒により添う進路指導 →生徒一人一人の実態やニーズに寄り添った進路指導を実現 産業現場等における実習を核とし、各教科の授業や日常生活の中から 「自立」するための力を育む。 <p>☆生徒の企業就労や社会貢献につなげる指導・支援を行う。</p>						



自分を見つけ、共に学び、未来へつなぐ

埼玉県立上尾特別支援学校上尾南分校グランドデザイン

育成方針



目指す学校像
キャリア教育を推進し、豊かに生きる力を育てる学校

学校教育目標
自分を見つけ、共に学び、未来へつなぐ

重点目標

- ・ 社会の役割を担い、社会に貢献できる人材の育成
- ・ インクルーシブな取組の推進およびセンター的機能の充実
- ・ 安心安全な学校づくりの推進

目指す生徒像

- 礼儀** 自らあいさつができる生徒
誠実 何事にも真剣に取り組む生徒
信頼 他人から信頼される生徒
貢献 自らすすんで地域や社会に貢献できる生徒

